



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 フルサト工業株式会社
 コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤井 武嗣

TEL 06-6946-9605

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	73,468	5.4	2,204	0.4	2,463	2.5	1,540	2.5
29年3月期第3四半期	69,736	0.9	2,196	14.4	2,403	14.3	1,579	11.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,178百万円 (13.8%) 29年3月期第3四半期 1,913百万円 (11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	106.24	
29年3月期第3四半期	108.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	61,462	38,504	62.6	2,656.05
29年3月期	60,046	37,030	61.7	2,554.28

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 38,504百万円 29年3月期 37,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		43.50	48.50
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				43.50	48.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,600	3.7	3,280	3.7	3,590	4.2	2,340	0.2	161.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料 P.7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	14,574,366 株	29年3月期	14,574,366 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	77,319 株	29年3月期	76,992 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,497,192 株	29年3月期3Q	14,497,858 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、個人消費の持ち直し、設備投資の増加、企業収益の改善等が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のなか当社グループは、2020年3月期を最終年度とする中期経営計画『Design the Future 2020』を遂行しております。「本当の価値の提供」をテーマに掲げ、新生産方式の導入による効率の向上、ロボットシステムインテグレータ事業の育成、セキュリティサービス事業における相乗効果の創生、働きがいのある充実した職場環境の実現などに取り組み、フォローアップすることにより着実な成長を目指しております。

売上高につきましては、引き続き機器・工具事業を中心に全セグメントが増収となり、前年同期比5.4%増の734億6千8百万円となりました。利益率の低下により機械・設備事業が減益となったため売上総利益は同4.6%増の100億7千万円となりました。連結子会社(株)ジーネットの名古屋支社及び名流センターの建替計画決定に伴う減価償却費の増加、働き方改革の推進・職場環境の整備に伴う人件費・運賃の増加等により、販売費及び一般管理費が同5.9%増となったことで、営業利益は同0.4%増の22億4百万円となりました。経常利益は同2.5%増の24億6千3百万円、特別損失に固定資産撤去費用、環境対策引当金繰入額を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2.5%減の15億4千万円となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

(機器・工具事業)

需要環境の回復と政策効果等により工業機器事業は前年同期比9.7%増となり、自動車向け機械工具事業は同3.2%の増加に転じ、住宅設備機器事業は新築・リフォーム共に需要低迷の影響により同5.6%減となりました。それらの結果、当事業の売上高は同7.4%増の359億9千7百万円となり、営業利益は同2.2%増の7億5千4百万円となりました。

(機械・設備事業)

好調な工作機械内需受注を背景に工作機械事業、FAシステム事業共に受注は前年同期を大きく上回っている中、受注から売上計上までの期間の伸びにより工作機械事業の売上は同2.7%増と減速し、FAシステム事業は同7.9%減となりました。それらの結果、当事業の売上高は同1.1%増の144億2千8百万円となり、営業利益は同12.4%減の3億2千4百万円となりました。

(建築・配管資材事業)

推定鉄骨需要量が増加する中、鉄骨建築資材事業は前年同期比3.5%増となり、配管資材事業も同10.7%増となりました。それらの結果、当事業の売上高は同5.0%増の230億4千3百万円となり、営業利益は同5.7%増の10億8千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億1千6百万円増加し、614億6千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少9億4千1百万円、受取手形及び売掛金の増加5億3千5百万円、電子記録債権の増加3億1百万円等により流動資産が9千4百万円増加したこと、有形固定資産の増加2億8千6百万円、投資その他の資産の増加10億1千3百万円等により固定資産が13億2千2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ5千8百万円減少し、229億5千7百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少6億7千8百万円、電子記録債務の増加4億円、未払法人税等の減少2億8千7百万円、賞与引当金の減少2億7千6百万円等により流動負債が5億1千1百万円減少したこと、長期借入金の増加1億5千万円、繰延税金負債の増加3億2千5百万円等により固定負債が4億5千3百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ14億7千4百万円増加し、385億4百万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当による減少7億3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加15億4千万円、その他有価証券評価差額金の増加6億6千6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月8日に公表しました平成30年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,437,850	10,496,621
受取手形及び売掛金	23,070,689	23,605,944
電子記録債権	2,951,039	3,252,895
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	3,626,586	3,622,403
仕掛品	290,112	253,508
原材料及び貯蔵品	134,468	151,858
繰延税金資産	283,360	186,724
その他	295,385	606,314
貸倒引当金	△22,189	△14,927
流動資産合計	42,267,303	42,361,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,024,440	3,885,155
機械装置及び運搬具(純額)	728,223	847,936
土地	7,203,691	7,203,691
建設仮勘定	29,788	345,404
その他(純額)	192,314	182,435
有形固定資産合計	12,178,458	12,464,624
無形固定資産	166,480	189,583
投資その他の資産		
投資有価証券	3,846,461	4,809,159
退職給付に係る資産	578,561	654,461
その他	1,096,237	1,072,351
貸倒引当金	△87,201	△88,696
投資その他の資産合計	5,434,058	6,447,276
固定資産合計	17,778,997	19,101,483
資産合計	60,046,300	61,462,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,067,049	17,388,382
電子記録債務	1,453,758	1,854,273
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	491,985	204,855
賞与引当金	578,535	302,151
役員賞与引当金	26,937	19,650
環境対策引当金	—	55,000
災害損失引当金	1,012	—
固定資産撤去費用引当金	35,000	35,000
その他	1,230,395	1,513,545
流動負債合計	21,984,673	21,472,857
固定負債		
長期借入金	—	150,000
繰延税金負債	831,130	1,156,651
退職給付に係る負債	37,104	43,980
その他	163,060	134,436
固定負債合計	1,031,295	1,485,067
負債合計	23,015,968	22,957,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,975,224	5,997,217
利益剰余金	24,391,455	25,228,461
自己株式	△61,138	△83,699
株主資本合計	35,537,955	36,374,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,364,070	2,030,648
繰延ヘッジ損益	594	913
退職給付に係る調整累計額	127,711	98,945
その他の包括利益累計額合計	1,492,377	2,130,507
純資産合計	37,030,332	38,504,901
負債純資産合計	60,046,300	61,462,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	69,736,130	73,468,819
売上原価	60,111,996	63,398,237
売上総利益	9,624,134	10,070,582
販売費及び一般管理費	7,427,877	7,866,333
営業利益	2,196,256	2,204,249
営業外収益		
受取利息	5,760	3,541
受取配当金	51,049	58,192
仕入割引	377,770	397,938
受取賃貸料	18,450	30,823
その他	17,791	17,614
営業外収益合計	470,822	508,109
営業外費用		
支払利息	550	671
売上割引	221,281	223,994
賃貸収入原価	1,441	798
その他	39,830	22,939
営業外費用合計	263,104	248,404
経常利益	2,403,974	2,463,953
特別利益		
有形固定資産売却益	32,669	—
投資有価証券売却益	6,488	9,782
特別利益合計	39,158	9,782
特別損失		
固定資産除却損	3,422	5,499
固定資産撤去費用	—	38,784
環境対策引当金繰入額	—	55,000
投資有価証券売却損	1,085	—
特別損失合計	4,507	99,284
税金等調整前四半期純利益	2,438,625	2,374,452
法人税、住民税及び事業税	689,514	703,446
法人税等調整額	169,623	130,762
法人税等合計	859,138	834,208
四半期純利益	1,579,486	1,540,243
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,579,486	1,540,243

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,579,486	1,540,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	344,878	666,577
繰延ヘッジ損益	3,628	319
退職給付に係る調整額	△14,070	△28,766
その他の包括利益合計	334,436	638,130
四半期包括利益	1,913,923	2,178,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,913,923	2,178,373
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社(株)ジーネットの名古屋支社及び名流センターの建替え計画を決定したため、耐用年数を取り壊し予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ89,064千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,523,528	14,274,979	21,937,622	69,736,130	—	69,736,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,270,141	186,298	41,959	1,498,399	△1,498,399	—
計	34,793,670	14,461,278	21,979,581	71,234,530	△1,498,399	69,736,130
セグメント利益	738,285	370,499	1,025,300	2,134,085	62,171	2,196,256

(注)① セグメント利益の調整額62,171千円には、セグメント間取引消去86,500千円、たな卸資産の調整額△3,147千円、固定資産の調整額△21,180千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,997,172	14,428,583	23,043,064	73,468,819	—	73,468,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	852,271	274,033	6,996	1,133,301	△1,133,301	—
計	36,849,443	14,702,616	23,050,061	74,602,121	△1,133,301	73,468,819
セグメント利益	754,830	324,518	1,083,733	2,163,082	41,166	2,204,249

(注)① セグメント利益の調整額41,166千円には、セグメント間取引消去43,544千円、たな卸資産の調整額△4,175千円、固定資産の調整額1,796千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。